

(様式1)

会 議 の 案 内

<p>(担当課 担当係)</p> <p>高齢障害福祉課 障害者支援係</p>	<p>(お問い合わせ先)</p> <p>0942-85-3642</p>
<p>会 議 名 称</p>	<p>令和5年度 第1回鳥栖市障害福祉計画策定委員会</p>
<p>議 題</p>	<p>1) 鳥栖市障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定について 2) 第7期鳥栖市障害福祉計画及び第3期鳥栖市障害児福祉計画策定について 3) 第7期鳥栖市障害福祉計画及び第3期鳥栖市障害児福祉計画の策定スケジュール(案)について</p>
<p>会 議 開 催 日 時</p>	<p>令和5年8月31日(木) 10時00分</p>
<p>会 議 場 所</p>	<p>鳥栖市役所 3階大会議室3</p>
<p>傍 聴 定 数</p>	<p>0人</p>
<p>特 記 事 項</p>	<p>(注意事項等)</p>

(様式2)

会 議 傍 聴 受 付 簿

会議名：(鳥栖市役所 3階大会議室3)

日 時：(令和5年8月31日(木) 10:00～)

受付番号	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

会議の要旨（議事録）

会議の名称	令和5年度 第1回鳥栖市障害福祉計画策定委員会		
開催日時	令和5年8月31日(木) 10時00分～	開催場所	鳥栖市役所 3階大会議室3
出席者数	策定委員 16人 事務局 5人	傍聴人数	0人
議題	1) 鳥栖市障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定について 2) 第7期鳥栖市障害福祉計画及び第3期鳥栖市障害児福祉計画策定について 3) 第7期鳥栖市障害福祉計画及び第3期鳥栖市障害児福祉計画の策定スケジュール(案)について		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥栖市障害福祉計画策定委員会設置要綱 ○令和5年度障害福祉計画策定委員会委員名簿 ○資料1 鳥栖市障害福祉計画及び鳥栖市障害児福祉計画の策定 ○資料2 現計画の取組状況 ○資料3 国の基本指針 ○資料4 第7期鳥栖市障害福祉計画及び第3期鳥栖市障害児福祉計画の策定スケジュール(案) 		
所管課	(課名)	高齢障害福祉課	(電話番号) 0942-85-3642

議 事 録

参加委員：田代会長、牧崎副会長、前山委員、小森委員、藤井委員、大隈委員、高崎委員、橋口委員、江見委員、芹田委員、中原委員、西山委員、石川委員、田中委員、日吉委員、原口委員[計 16 名]

1. 開会
事務局（高齢障害福祉課長）
2. あいさつ
鳥栖市長（挨拶後退席）
3. 委嘱状の交付
4. 会長・副会長の選出
委員の互選により、会長：田代委員、副会長：牧崎委員に決定。

5. 議題

議題 1) 鳥栖市障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定について

○委員

計画を立てたままにせず、進捗状況も確認する体制を整えていってほしい。

議題 2) 第 7 期鳥栖市障害福祉計画及び第 3 期鳥栖市障害児福祉計画の策定について

○委員

就労定着支援事業がどのような定義であるのかを確認したい。九千部学園とグリーンファーム山浦が鳥栖市にある指定事業所ということであるが、どのような定義でその 2 カ所になっているのかを知りたい。

●事務局

就労定着支援とは、就労移行支援等を利用し一般就労された方が、大体半年経過した頃から利用できる制度である。

一般就労開始から 3 年 6 カ月を期間の限度として利用できる制度となっており、佐賀県の指定を受けて、鳥栖市では現在 2 事業所が事業を行っている。鳥栖市で何カ所とは決まっていない。

○委員

意思疎通支援事業について、策定委員会の委員に視覚障害者、聴覚障害者の代表の方が入っていない。福祉協会の方がその代表なのだろうと思うが、他の委員も視覚障害、聴覚障害の方がどういう思いでこの計画を見ているかを視点に加えて意見をしてほしい。

○委員

国連の障害者権利条約について、長期入院者の地域移行は入院だけでなく施設入所等も含まれると思うが、地域の受け皿をどう増やすか、整備していかないとうまくいかないと思う。

近年の実績はコロナ禍の影響もあるかもしれないが、現状、事業所がない、従業員がいないという状況もあり、コロナが収まったから急に実績が増えるとは言えない状況であるのではないかと。

インクルーシブ教育について、コロナ禍であっても児童発達支援や放課後等デイサービスの利用者数は増加している。これらのサービスの利用者数が増えるということはイン

クルーシブな社会づくりに逆行することになる。今後出される数値目標について、数値だけ上げても、実際に担い手が減っている状況があり、目標に到達することが難しい。数値を上げるのであれば、担い手育成の支援等について今回の計画に盛り込むのか。

●事務局

人材や事業所の確保をどうやって進めていくか悩むところである。今回の意見を参考にして検討したい。

○委員

人材確保や人材不足に関する問題について、今回計画を策定する中でハローワークと情報交換する等やり取りをしたのか。

●事務局

ハローワークとは協定を締結しており、就労や障害者雇用等について話し合っている。まだ大きな成果は見られていないが、今後協力しながら進めていく。

○委員

人材育成について、ハローワークでも職業訓練等で対策しているが、まだ目に見える効果ではない。地道に、求職者にも目を向けてもらえるような対策をとっていく。

○委員

障害者雇用において、支援者を企業に設置すると就労支援がますます進むのではないかと。目標を立てて支援することで従業員の見方も変わり、その中で市の協力があると思う。

○委員

成年後見制度利用支援事業について、報酬助成だけでなく、啓発等の研修や講演会、相談会の実施も含まれると思うが、鳥栖市はどのような形で実施しているか。

●事務局

計画に挙げている数値は市長申立の件数である。啓発について、鳥栖市ではあまりできていない状況である。昨年度、NPO 法人が市民後見制度についての講演会を開催し、鳥栖市は名義後援し、支援を行った。

○委員

まだ不足しているため、広報啓発や相談を行うことが必要であると思う。成年後見制度利用促進法という法律もでき、市町村は中核機関の設置を行う動きが始まっているため、障害分野も含めて検討して進めてほしい。

○委員

佐賀県のいろんな地域で、施設を出て地域生活へ移行したいけれどもグループホームがない、入れないという障害者の声をよく聞くため、鳥栖市では需要が満たされているかを知りたい。

●事務局

グループホームもそれぞれのホームで特徴があり、小郡、太宰府、久留米等鳥栖市外の地域のグループホームを利用している人も多くいる。逆に市外の人が市内のホームに入居しているケースも多い。一概に需要が満たされているかを比較できないところである。

○委員

グループホームのサービスの質の把握について、他圏域で、グループホーム入居前は電車で外出等していた人が、グループホームに入居した途端、近くのスーパーまでも歩いていくことを許されない、門限がある、友人が遊びに来ることも許可されない状況であるケースがある。施設入所している人と大差ない状況がある。自宅に近い環境で暮らせる点がグループホームの利点であると思う。事務局で把握されているか。

●事務局

全部を把握できているとはいえないが、自由度がなくなる、お金の管理もグループホー

ムが主導しているといった話があり、そのことが原因でグループホームを移りたいという相談がある。必要以上の支援をされているといった声もある。内容によって、佐賀県にも報告している。

○委員

状況によって、障害者の人権問題に関わることだと思う。職員はその意識がないといっても、それは関係ない。

意思決定支援が非常に大切であり、障害者との関わり方を学ぶ必要がある。

○委員

グループホームについて、3障害それぞれのニーズがあると思うが、身体障害者が入居できるグループホームが少ないと聞く。ハード面に課題があり、自己選択、自己決定でグループホームに入居したが、車椅子で居室内を回転できず、不便を感じながら生活をしているという。地域移行を充実させるためには、内容も見込んで数を上げたらよい。

○委員

実績で、コロナの影響を受けた可能性が考えられるものとそうでないもの、コロナ禍でも数が増えたものとあり、興味深く話を聞いた。今度はこの傾向を次回目標にどう出すのかを伺いたい。

保健所では次の感染症への対処について考えている。起こり得るかどうかわからないことに対して多く備える必要はないかもしれないが、今決まっていること等を教えてほしい。また、それらが鳥栖市だけなのか、他のところでも同じような傾向があるのかを知りたい。

●事務局

児童発達支援や放課後等デイサービスの利用者数の増加は、鳥栖だけでなく、全国で同様の状況であると受け止めている。3年前の計画では大体横ばいか増加で目標値を掲げており、コロナの影響を受けたものもある。

鳥栖市は福岡県と隣接しているところでもあり、事業所等の地域資源の数は県内でも多い方である。不足していると思われるところもあるかもしれないが、地域資源としては充実している方であると思う。

議題2) 第7期鳥栖市障害福祉計画及び第3期鳥栖市障害児福祉計画の策定スケジュール(案)について

○委員

次回は計画案が出される予定である。鳥栖・三養基地区のいいところは地域自立支援協議会が各分野で活発に開催されているところである。協議で出した内容を検討事項に挙げてもらえれば、意見が反映されていると考えるところである。